

高度な咬合の再構成を実現する精密分析

東京審美会では、矯正臨床を踏まえたセファログラムの分析結果に加え、顎顔面部の分析、成長分析、必要に応じ、骨幅、骨密度、皮質骨や海綿骨の分布の分析の結果を踏まえ、下顎運動における代償（Compensation）をも考慮した高度な咬合の再構成を行っています。